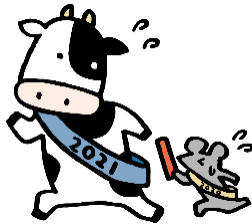


JSCA 九州 大分地区会メール版

発行・日本建築構造技術者協会九州支部大分地区会

2021 年を迎えて



2021年新年のご挨拶



大分地区会 幹事 山本 伸二

大分地区会、SYO、協力会の皆さま 新年あけましておめでとうございます。

2020年は企画の一年でした。新年早々から3月11日の開催に向けて木質系部会、きいぷらんの山下智会員から「木造の構造設計を始めよう」の講習会で計画を始めております。各団体様や官庁様に広報活動を行い多くの参加(51名)希望を頂き準備万端で向かえましたが1月末からの新型コロナウイルスによる感染者が全国的に見られるようになり、県内でもわずかな感染者でしたが集会等の自粛を呼びかけるようになり、本会も密な集会と判断し延期を2月に決定致しました。その後、県内では県民の注意、努力で感染者は少なく、停滞気味な5月、6月と続いていました。そのような中、地区会では鉄骨系部会、神田倫臣会員が活動を起こしております。「鉄骨構造 設計・施工の効率化」と題して9月16日に開催計画を立て頂きました。受講申し込み者も30名を超える方たちの申し込みがありました。今回はと期待をしていましたが8月から県内でもさらに感染者が多くなりこの講習会も断念することとなりました。同時に進めていました基礎地盤系部会の荻本修三会員の計画も先送りとなっております。同様に、地区会の役員会、理事会、定例会と年次計画をしていましたが対面での集会を控え開催を中止しております。会員様には寂しい地区会になったこととお詫びいたします。

教育現場でのオンライン授業、企業ではテレワーク、リモートワークによる就業で外出が大幅に減るなどと社会現象が一般化してきています。そこで、我々も少しICT活用の取り組みを勉強し、事務局の平田さん主導でWEBによる集会を企ててまいりました。“成ればなる”、と活動の明るい兆候が見えてきました。今年は大いに活用していきたいと思っています。ただ、これには皆さまのご協力あってのことであり、是非いろんな形で背中を押して頂き、地区会活動のご協力を重ねてお願いいたします。我々の任期も僅かとなっております。次役員にバトンタッチできるまで、頑張っていく所存です。いずれは会員各自に役をお願いしていかざるを得ません、一緒に取り組んでまいりましょう。年末には大分地区会の開示がHP委員の河野浩二会員の努力により開示できるようになりました。これには「大分県建築構造技術センター(OBJ)」さまのご厚意が多大であることをお伝えし担当者様に感謝申し上げます。JSCA 大分地区会よりお礼申し上げますありがとうございました。同HPに大分地区会、SYO、大分地区会協力会の会員名簿が掲載されていますのでご案内をお願いいたします。

最後に皆様の益々のご活躍とご多幸をお祈り申し上げます。

2021年を迎えて



大分地区会副幹事
(株)大有設計 小野 慎弥

JSCA九州支部大分地区会、SYOならびに協力会の皆様、
謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で計画していた行事、3月の木質系部会講習会に始まり、5月の総会、9月の鉄骨系部会講習会、協力会による鉄骨柱脚勉強会、11月沖縄での構造デザイン発表会などことごとく中止・延期となりました。私が担当させて頂いている協力会につきましても一昨年は種を蒔いた年でしたが、昨年は静観する事しか出来ませんでした。本年こそは協力会の皆様と交流の場を設け実りある年とできるよう準備していきたいと考えております。しかし、このような状況の中でも大分県建築設計5団体協議会や九州設計4団体懇談会など新たなネットワークの構築やリモートワーク、ZOOM等でのオンライン会議、WEBセミナーなど新たな取り組み方への可能性も見えてまいりました。本年以降もアフターコロナの見通しはついておりませんが、WITH コロナ時代を見据えた活動ができるよう、幹事の山本氏、事務局の平田氏を盛り立ててサポートしていきたいと思っております。

皆様につきましても引き続き大分地区会へのご協力よろしくお願ひいたします。



大分地区会事務局
平田設計事務所 平田 豊治

明けましておめでとうございます。

昨年5月 前任の岡本さんより引き継いで事務局を担当しています。昨年は「新型コロナ」に振り回されてフラストレーションが蓄積された1年でした。特に「鉄骨構造 設計・施工の効率化」講習会はコロナ禍においても実績が残せるものと考えていただけに残念なものとなりました。

人との接触・会話・飲食が ウイルス増殖の要因になるという事実は「コミュニケーションしないと生きていけない動物」である私たちの生活に大きな影響を及ぼし、様々なことに気づかされました。

新型コロナウイルスのパンデミック終息について 以下記事を見つけました。

「歴史学者によると、パンデミックの終わり方には2通りあり、1つは医学的な終息で罹患率・死亡率が減少するもの。もう1つは社会的なもので病気に対する恐怖心が薄れて終息するもの。」とのこと。海外ではワクチン接種も始まったようです 一刻も早い終息が望まれます。

今年も JSCA九州大分地区会の活動にご協力をお願いします。

2021 年を迎えて



木質系部会
きいぷらん 山下 智

皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年初めは木造の構造設計者の裾野を広げるべく、構造設計者向けに木造の構造設計を始めてみようと呼びかけた講習会の活動を予定していたのですが、コロナ禍のあおりを受けあえなく開催延期を余儀なくされてしまいました。準備が実らず、また影響で少なからず動かなくなった仕事もあり、皆さまも楽しみにしていたであろうオリンピックも延期となりで色んなことが宙に浮いた気分的一年となってしまいました。その中でも少し木造の基準にも動きが有り、在来工法で従来制限のあった壁倍率7倍を超える15倍までの大きな耐力壁が使えるようになります。また、近々グレー本の改正が予定されているとも耳にしました。そして、私事では昨年、一昨年にかけて九経連主催の木造ビルの大分モデル木造4階建ての計画でお手伝いをさせて頂いております。



鉄骨系部会
神田設計 神田 倫臣

明けましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスに振り回された一年となりました。鉄骨部会におきましても9月16日に予定しておりました講習会「鉄骨構造 設計・施工の効率化」が中止となりました。講習会の講師及び関係者の方々にはご迷惑をおかけしました。この場を借りましてお詫び申し上げます。ワクチンの早期完成が望まれます。

本年も、構造設計者の技術の向上を目指すため、新たな勉強会・見学会を計画していきたいと思っております。なかなか難しいことですが、体操の内村選手のコメントにある「“できない”じゃなくて“どうやったらできるか”」を頭に入れ進めていきたいと思っております。

新しい年が、皆様にとりまして素晴らしく希望に満ちた年でありますようご祈念申し上げます、年頭のあいさつとさせていただきます。

2021 年を迎えて



基礎地盤系部会
森田建設(株) 荻本 修三

新型コロナウイルス感染拡大により影響を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

昨年は、コロナ禍の中、活動に制限を受けた年でした、私も講習会を数回、web講習を受けたように記憶しております。今年は、丑年 十二支の動物の中で最も動きが緩慢で歩みの遅い丑の年は、先を急がず一步一步着実に物事を進めることが大切な年と言われています、着実に、経済の立ち直り・コロナが収束する事を願っております。

大分地区会 基礎地盤系部会としましては、杭頭の工法の勉強会を計画しておりましたが、コロナの影響で、自粛する結果となりました。再度勉強会が出来るようになりましたら再開したいと考えております。

本年も宜しくお願いします。



HP委員長
K2構造設計(株) 河野 浩二

皆様、明けましておめでとうございます。

HP担当の河野です。

何とか昨年中に会員名簿を大分県建築構造センター様のHPに掲載することが出来て、嬉しく思っております。

昨年は新型コロナウイルスの流行が発端となり、仕事の仕方やジャスカ大分の活動形態が大きく変わりましたが、今年になっても引き続き大変な状況に変わりがないと思われれます。

しかしながら、ワクチン開発など明るい兆しも見え始めました。

この新しい年が、皆様にとって、より佳き年になるよう心より祈念致しまして、私からのご挨拶とさせていただきます。

皆さん、今年もよろしくお祈りします。

2021年を迎えて



SYO部会長
(株)日構設計 高橋 教倫

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルスによる行動の制限が大きく、JSCA-SYOとしてほぼ全ての行事が行えず悔いの残る年となりました。Zoom等をコロナ禍の勉強会に活用できないか模索致しましたが、数人による会議通話程度であれば問題なく機能しますが、5人以上の勉強会や親睦という交流目的の会議では少々使いにくいと感じ断念しました。せっかく発足したので思ったように活動できないことはもどかしいですが、しばらくは感染拡大防止が最優先になりそうです。

構造設計者の高齢化とリタイアが進んでいますので、今年は今までの活動に加え、既存のネットワーク内だけではなく広範囲の構造設計者にJSCAに興味を持って頂くことを急務として活動していきたいと思えます。



協力会幹事
(株)大鐵 國安 孝貴

新年明けましておめでとうございます。

JSCA大分地区会ならびに協力会の皆さまには、健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。2019年12月11日に開催された発足式をもって、協力会の幹事を仰せつかり活動計画を立てているところ、昨年当初からの新型コロナウイルスによる影響もあり表立った活動も出来ず、不本意な1年となってしまった事をお詫び申し上げます。

コロナ禍の中、会員の皆様におかれましては様々な対策に追われたことと存じますが、私が好きな言葉に『もっとも強い者が生き残るのではなく、もっとも賢い者が生き延びるでもない、唯一生き残れるのは変化する者だけである』と言うチャールズ・ダーウィンが残した言葉があります。目の前の現実には悲観的になるよりも、何に向き合い何に適応していくかを考え、皆さんで知恵を絞りこの難局を乗り越えて行ければと思います。

結びに、地区会員ならびに協力会皆様のご健康と益々のご活躍をお祈り申し上げまして新年のご挨拶といたします。